

1. 件名：福島第一原子力発電所における大型廃棄物保管庫建屋の耐震補強に係る面談
2. 日時：令和6年1月31日（水）10:00～10:40
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

椎名係長、山下安全審査専門職

地震・津波審査部門

江寄企画調査官、三浦技術参与

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 担当1名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 担当5名（うち3名テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、今後申請予定の大型廃棄物保管庫建屋の耐震補強の概要について、資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁は説明を受けた内容について事実関係を確認するとともに、主に以下のコメント等を伝えた。

- 資料中に示している建屋の図面について、方位の基準（N、PN）が混在しているので統一すること。
- 建屋の断面図について、代表的な軸通りごとの図面や屋根スラブと改良地盤の位置を示す等、わかりやすい図面とすること。
- 屋根スラブの応力解析について、面外せん断力の評価結果を示すこと。
- Ss900 を入力した時における基礎上の加速度応答スペクトルについて、各方向における建屋の固有周期等の必要な情報を整理した上で示すこと。

○東京電力より、上記コメントについて了解した旨の回答があった。

6. 資料

- 大型廃棄物保管庫建屋の構造強度及び耐震性について（別添-3）
- 水平2方向及び鉛直方向地震力の同時入力時に用いる模擬地震波について（別紙-1）
- 解析ケースの選定について

以上